

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 大牟田市立明治小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒836-0012
福岡県大牟田市明治町2丁目21番地1

E-mail meiji-es@st.city.omuta.fukuoka.jp

Website http://www.e-net21.city.omuta.fukuoka.jp/meiji-es/

児童生徒数 男子 86名 女子 114名 合計 200名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について

【3年生】「めざせ！エネルギー博士」

理科の学習で、太陽の光によって地面が温められたり鏡で光を集めるとその温度が上がったりすることをとらえた。もっと集めたらどうなるだろうという課題を持ち、太陽焦熱炉を使って焼きいもに挑戦した。

また、太陽光による発電や風力発電などの再生可能エネルギーによる発電について資料をもとに調べた。



【4年生】「くらしの中のエネルギー」

学校や家庭の使用電力量や発電の仕組みなどを調べ、省エネ・省資源の大切さをとらえさせることをねらいとして活動した。

発電する際に二酸化炭素が排出され、環境に影響を及ぼしていることを知り、課題へとつなげた。

九電みらい財団の協力による環境教育学習で、環境を守るために企業で取り組んでいること（水源涵養林）や再生可能エネルギーによる発電方法である地熱発電所やメガソーラー発電所の見学を行った。



【5年生】「ぼくたち、私たち環境探検隊」

2つの河川にはさまれた校区の特徴から、河川的环境に対する意識を高め、環境を守るために自分たちにできることを考えさせることをねらいとして活動した。

かつては公害に悩まされていた校区の大牟田川の水質や生き物を調べ、どのような取組によって水質改善が図られてきたのかを調べた。ネイチャーガイドの方と一緒に上流、中流、下流の調査を行い、グループごとにテーマを設定してまとめた。



【6年生】「エネルギーのまち大牟田」

「石炭のまち」として栄えてきた大牟田の歴史について理解することや持続可能な社会の実現に向けたこれからのエネルギー利用について考えを深めることをねらいとして活動した。

石炭産業の発達と近代化遺産について調べ、エネルギーの利用により産業や文化が展開してきたこと、それが環境に影響を及ぼしてきたことを理解した。そして現在、環境への影響が小さいエネルギーの供給や再生可能エネルギーによる発電などに取り組んでいることを資料で調べたり企業からの出前授業で学んだりしてまとめた。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）